

初参加の芸工大生が奮闘

かえっこバザールでは、初参加の神戸芸工大が、「おばば・おじじレター大作戦」のブースを開設。8人の女性スタッフは子供たちの呼び込みに大わらわでした。敬老の日にちなんで、祖父母にハガキのメッセージを出そうというもので、子供たちは「おばばだいすき」「じいちゃんありがとう」の

文字にハートや似顔をあしらったカラフルなハガキが次々に仕上がりに、「できたよ!」とっこり。この日は30人が参



準備をする芸工大の学生 岡本紘一撮影

加してくれました。スタッフは「初めての体験だけど、子供たちがとても喜んでくれ、私たちも嬉しかった」「人集めにとまどったが、いい経験になった」と話していました。引率のかわい・ひろゆき教授は「こんな大勢が集まる会場で、活動できてよかった。次回も参加したい」と意欲的でした。芸工大とは6月の講演会がきっかけで、かえっこバザールに仲間入りしてくれることになり、常盤大と共に若いスタッフで運営の道ができました。かわい教授は、来年度の村まつり、工作塾などへの参加にも乗り気で、〈わ〉とプランを考えることになりました。(広報委員・南形徹)

雨でも元気に昆虫採集



バッタをとった、セミも捕まえたよ——8月2・3日の両日、夏休み「昆虫採集と標本作り」教室(写真Ⓔ=中屋好生

撮影)がしあわせの村で行われ、82人の子どもたちが参加しました。あいにく雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、かっぱを着用した子どもたちは、虫取り網を片手に元気よく昆虫採集を楽しんでいました。この日の案内役は、里山和楽会と六甲の自然を守る会のメンバー。神戸いきもの会議の今給黎靖夫先生が、昆虫標本の作り方をアドバイス。子どもたちは、真剣な面持ちで標本作りに取り組んでいました。(広報・井口久美子)

〈仲間と心ひとつに〉学園祭

〈心ひとつに仲間と共に〉をテーマに、第20回学園祭が10月11日(土)に開かれます。ステージでは合唱。ダンス・マジックなど27グループが日頃の練習の成果を披露。中庭や学習室では25グループが模擬店を出して作品や雑貨、うどん、カレーなどを販売。チャリティーバザーも開かれます。ロビーでは絵画・陶芸・写真・書などが展示されます。グループ〈わ〉も、カレー店とクラムチャウダーの店をオープンします。サポート募金も呼びかけます。

さおり・たまもに社協感謝状

神戸市社会福祉大会が9月9日、神戸文化ホールで開催され、さおり・たまも(永野照子代表)に理事長感謝状が贈られました。13年間に亘って、障害者施設利用者が織るさおり織を縫製、商品化しています。おめでとうございます。

ぴかぴか隊に環境奨励賞

環境保全に貢献のあった団体を顕彰する平成26年度「神戸市環境奨励賞」に、グループ〈わ〉から「ぴかぴか隊」(天野征一郎代表)が選ばれました。11月9日(日)に、シルバーカレッジで表彰式が行われます。ぴかぴか隊は、平成23年設立。神戸市のイベント(震災慰霊祭・神戸まつり・ルミナリエ・マラソンなど)の清掃にボランティアとして参加。また、地域の環境改善や清掃にも力を入れています。

増金さんと銀雅が受賞

平成26年度高齢社会フォーラムin神戸が10月30日(木)、国際展示場(ポアイ)で開催されます。その中で、社会活動を実践している個人、団体を顕彰する賞に個人は増金スミ子さん・団体は楽游クラブ銀雅(重松豊彦代表)が選ばれ、午前に表彰式が行われます。増金さんは、一寸奉仕代表として病院での案内、話し相手、その他福祉施設で大道芸(南京玉すだれ・動物風船など)を披露するなど、幅広い活動を行っています。楽游クラブ銀雅は平成12年設立。福祉施設や児童館などへの友愛訪問を長年続けています。

午後、「社会参加を加速させるプラットフォームづくり」をテーマとしたパネルディスカッションに堺汎理事長がパネリストで出席予定です。